

退職後の生活に対する信頼回復への道

セス・マスターズ

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

アセット・アロケーション／富裕層向けサービス最高投資責任者



アメリカ人は退職後の生活に様々な不安を抱いているが、私たちは退職後も明るい未来が待っていると楽観的に考えている。前回は安心な老後が消えゆくアメリカン・ドリームになりつつあると書いたが、必ずしもそうとは限らない。退職後の生活への信頼を回復できる前向きな方法もある。

学ぶべき教訓

より良い退職への道を提供することを目指す事業主、そのアドバイザー、運用会社に、歴史は重要な教訓をいくつか教えてくれる。

- 変化は避けられない。高齢化は退職者の増加を意味し、退職者は確定拠出年金(DC)へ一段と依存するようになり、それに伴って規制は引き続き進化するだろう。長期的には、それを取り込む柔軟性のあるDCだけが成功できるだろう。
- DC加入者にとって、多くの選択肢があることは理論的には素晴らしく思えるが、実際にはうまく行っていないのではないだろうか。私たちは良いデフォルト・オプション(運用指図をしない場合に自動的に投資する商品)を提供することが大半のDC加入者により良い結果をもたらすと考えている。

- かつて主流だった確定給付年金(DB)システムには、保証された終身年金や全員によるリスク分担など非常にしっかりした概念がいくつかあった。過去のシステムには避けるべき欠陥がある一方で、取り入れるべき点もある。

DC加入者が求めるものを提供する

では、DC加入者は退職後の生活のために何を望んでいるのだろうか。希望リストの第1位は安定した収入で、3分の2がそう答えている。つまり、加入者が一番求めているのはDC制度内の年金である。第2位は元本保証で、第3位は自分のお金にいつでも簡単にアクセスできることである。魅力的な投資の選択肢は、事業主がDCの運営において大半の時間を費やす項目であるが、加入者の希望リストでは第4位にすぎない。

より良い未来を創る

では、DC制度の事業主は現行の制度を全て破棄して、ゼロからやり直すべきなのだろうか。そんなことは決していないだろう。私たちが勧めるのは、DB制度が長年運営されてきたのと同じデューデリジェンス、投資フォーカス、コスト感応度を有する適格デフォルト投資選択肢(Qualified Default Investment Alternative: QDIA、以下

当資料は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーのCONTEXTブログを日本語訳したものです。オリジナルの英語版はこちら。

<http://blog.alliancebernstein.com/index.php/2013/01/24/the-road-to-restoring-confidence-in-retirement/>

本文中の見解はリサーチ、投資助言、売買推奨ではなく、必ずしもアライアンス・バーンスタイン・ポートフォリオ運用チームの見解とは限りません。本文中で言及した資産クラスの過去のパフォーマンスは将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。当資料は、2013年1月24日現在の情報を基にアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが作成したものをアライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳した資料であり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また当資料の記載内容、データ等は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。

デフォルト・オプション)である。

そして、DCは自動加入・自動掛金引き上げ制度を通じ加入者をそのデフォルト・オプションに誘導すべきだろう。選択の自由を尊重する加入者はいつでもデフォルト・オプションをやめ、自分が好きな他の選択肢を選ぶことができる。

規模の大きな制度の場合、デフォルト・オプションはその目的や加入者構成に応じてカスタマイズできる。オープンな構造としているため、加入者は長期にわたり資産クラス、戦略、そして運用会社の組合せを変えたり、乗り換えたりすることができる。

現在のニーズを満たし、その変化にも適応できるデフォルト・オプションは、自分の退職プランが引き続き順調に進んでいるという安心感を加入者に与えると考えられる。

最後に、デフォルト・オプションに終身保証を加えると、デフォルト・オプションを年金にすることができる。加入者に安定した所得を一生提供する一方、事業主により多くの柔軟性とプロテクションを提供する複数保険会社による保証の仕組みが、特にお勧めではないだろうか。

年金給付の評価

次世代のDCデザインは加入者により良い結果とより多くのコントロールを提供できるだろう。特に、そのデフォルト・オプションに終身保証が含まれる場合は、加入者は実質的に不可能なほど複雑なプランニングの問題ともはや格闘する必要がなくなると考えられる。その結果、加入者は「退職にはどのくらいのお金が必要なのか」、「いつ退職すべきか」などの自分がコントロールできる問題に集中できるだろう。

事業主にとって、次世代のDCデザインはより良い従業員給付をより高い柔軟性とより低いリスクで提供できると考えられる。それによって、DC制度の事業主と加入者の間に新たな社会契約、特に長期にわたり持続的なものを作ることができるだろう。

結局、それはアメリカン・ドリームの安心な老後に関する部分であり、私たちはこれが退職後の生活に対する信頼を回復するための前向きな方法であると考えている。

今回は終身保証について、より詳しく触れる予定である。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
<http://www.alliancebernstein.com>

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており、勧誘を目的としたものではありません。特定ファンドの取得をご希望の場合には当該ファンドの目論見書をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。下記の内容は、ファンドをお申込みされる際に、投資家の皆様にご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

■ ファンドのリスクについて

アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用するファンドは株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドが投資した資産の価値の減少を含むリスクは、ファンドの受益者に帰属します。リスクの要因については、各ファンドが投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各ファンドの目論見書をご覧ください。

■ お客様にご負担いただく費用:ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります

- 申込時に直接ご負担いただく費用:申込み手数料 上限3.15%(税込み)です。
- 換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金 上限0.5%です。
- 保有期間に間接的にご負担いただく費用:信託報酬 上限1.974%(税込み)です。

その他費用:上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的なファンドを想定しています。費用の料率につきましてはアライアンス・バーンスタイン株式会社が運用するすべてのファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。